



ROCK PAINT

114ライン・024ライン・069ライン

ルーフペイントシリーズ

金属製屋根・トタン屋根・新屋根材用塗料

住宅用化粧スレート(新屋根材)
金属製屋根、トタン屋根などに

●114-1000番級

ユメロックルーフ

●024-1000番級

1液ユメロックルーフ

トタン屋根用

●069-1000番級

ロックトタンペイント



ロックペイント株式会社

屋根は太陽光による紫外線や熱、雨、雪、霜などの自然条件を直接受ける厳しい環境におかれています。ロックペイントのルーフペイントシリーズでは、このような自然環境に対応するために、耐久性の高い強靱な塗膜を形成し、屋根の素材に応じた適切な塗料を取り揃えております。

ルーフペイントシリーズ 製品群

114-1000番級 ユメロックルーフ

弱溶剤二液型NADシリコンウレタン樹脂塗料（アクリルシリコン樹脂塗料）

特長

- 従来の弱溶剤二液ウレタン塗料に比べ、耐久性、耐汚染性にすぐれ、また匂いも非常にマイルドです。
- 塗料用シンナーで希釈可能なため、旧塗膜を侵す心配がなく、幅広い用途に使用できます。
- 鉛、クロムなどの有害な重金属を原料として使用していないため、環境にやさしい塗料です。



使用方法

希 釈 剤	塗料用シンナー	
	塗 装 方 法	ハケ・ローラー
希 釈 率	5~15%	10~20%
塗り重ね可能時間	2時間以上 (23℃)	
標準塗り面積	57~68㎡ (2回塗り)	
容 量	15kgセット (主剤13.5kg、硬化剤1.5kg)	
配合比 (重量)	主剤：硬化剤 (114-1140) = 9 : 1	

069-1000番級 ロックトタンペイント

合成樹脂系 トタン屋根用塗料

特長

- 長油性アルキド樹脂ベースで光沢、付着性にすぐれています。
- ハケ塗り作業性が良好で、塗り替えに適しています。



使用方法

希 釈 剤	塗料用シンナー	
	塗 装 方 法	ハケ・ローラー
希 釈 率	5~10%	10~20%
塗り重ね可能時間	20時間以上 (23℃)	
標準塗り面積	57~65㎡ (2回塗り)	
容 量	14L	

024-1000番級 1液ユメロックルーフ

弱溶剤1液架橋型アクリルシリコン樹脂塗料

特長

- 特殊速硬化技術により、作業効率が格段に向上しました。塗装時の発泡が起こりにくく、ハケ・ローラー運びもスムーズです。
- シリコン変性した特殊アクリル樹脂をベースにした高耐候・高光沢塗料です。
- 長期にわたり、艶引けや変色が少なく、汚れも付きにくくなっています。



使用方法

希 釈 剤	塗料用シンナー	
	塗 装 方 法	ハケ・ローラー
希 釈 率	5~15%	10~20%
塗り重ね可能時間	2時間以上 (23℃)	
標準塗り面積	52~63㎡ (2回塗り)	
容 量	14L	

【下塗り塗料(サビ止め塗料、シーラーなどの種類と適正)】

品 名	品 番	容 量	上塗り塗料との適正			
			ユメロックルーフ	1液ユメロックルーフ	ロックトタンペイント	
2液型サビカット (主剤) [硬化剤: 061-7910] 希釈剤: 塗料用シンナー 主剤: 硬化剤 = 9 : 1	赤サビ色	061-7530	16kg セット	○	○	○
	グレー	061-7531	16kg セット	○	○	○
	ホワイト	061-7532	16kg セット	○	○	○
サビカットプラス 希釈剤: 塗料用シンナー	赤サビ色	061-3530	16kg	○	○	○
	グレー	061-3531	16kg	○	○	○
	ホワイト	061-3532	16kg	○	○	○
サビカットⅡ 希釈剤: 塗料用シンナー	赤サビ色	061-1540	16kg, 4kg	○	○	○
	グレー	061-1541	16kg, 4kg	○	○	○
	ホワイト	061-1542	16kg, 4kg	○	○	○
	ブラック	061-1544	16kg	○	○	○
ユメロックシーラー (主剤) [硬化剤: 033-6910] 希釈剤: 塗料用シンナー 主剤: 硬化剤 = 5 : 1	(透明)	033-5150	15kg セット	○	○	○
	ホワイト	033-5110	15kg セット	○	○	○
ハイパーシーラーエポ (透明) [硬化剤: 033-6910] 希釈剤: 塗料用シンナー 主剤: 硬化剤 = 5 : 1		033-6150	15kg セット	○	○	○
エポシーラーマルチ (透明) 希釈剤: 塗料用シンナー		033-8150	14kg	○	○	○
ロックカチオンシーラーマルチⅢ 希釈剤: 水		033-1179	15kg	○	○	○
ロック屋根・瓦用サーフェサー 希釈剤: 水		032-2111	15kg	○	○	○

◎:最適 ○:適 ×:不適 /:用途として不適

注) 詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
ロックカチオンシーラーマルチ ホワイトは屋根用途には適しません。

●ルーフペイントシリーズ 性能比較

	114L ユメロック ルーフ	024L 1液ユメロック ルーフ	069L ロック トタンペイント
耐候性	◎	○	△
光 沢	◎	◎	○
付着性	◎	◎	○
作業性	△ (二液型)	◎	○

注) 評価基準は相対的な比較であり、絶対値ではありません。
優←◎○△→劣

ROCK ルーフペイントシリーズ 常備色一覧表



1065 あかさび 114L 024L 069L



1077 ロイヤルレッド 114L 024L 069L



1034 ブリックレッド 114L 024L 069L



1057 チョコレート 114L 024L 069L



1078 新ブラウン 114L 024L 069L



1056 ココアブラウン 114L 024L 069L



1035 ダークブラウン 114L 024L 069L



1058 新コーヒーマウン 114L 024L 069L



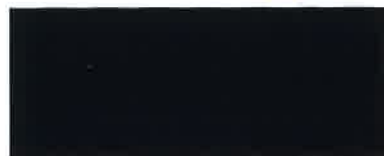
1063 ニューグリーン 114L 024L 069L



1062 エバーグリーン 114L 024L 069L



1081 ニューモスグリーン 114L 024L 069L



1079 ノアール 114L 024L 069L



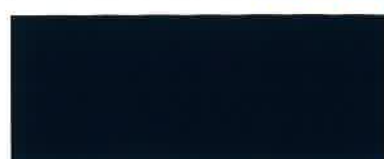
1053 そらいろ 114L 024L 069L



1075 ライトブルー 114L 024L 069L



1051 ナイスブルー 114L 024L 069L



1076 ナスコン 114L 024L 069L



1060 うすちゃ 114L 024L 069L



1064 ねずみいろ 114L 024L 069L



1039 グレー 114L 024L 069L



1011 ブラック 114L 024L 069L



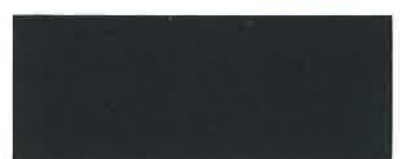
1050 シルバー 114L 024L 069L



1031 銀黒A 114L 024L 069L



1032 銀黒B 114L 024L 069L



1033 銀黒C 114L 024L 069L

- (注) ●この見本帳は紙に塗装されていますので、実際の塗料に比べ色・ツヤに差異があります。色彩については塗り板等で確認してからご注文ください。
 また、塗料価格は色によって異なります。
 ●広い面積を塗装する実際の現場施工の場合、色・ツヤが見本帳と異なって見える場合があります。
 ●ユメロックルーフ、1液ユメロックルーフのシルバーをはじめ、銀黒A・銀黒B・銀黒Cは、平滑面にハケやローラーで塗装しますと、ツヤむらやメタリックむらが目立つことがありますのでご注意ください。エアレスなどで塗装すると美しく仕上がります。
 ●色見本は保管条件、保管期間により、少しずつ変化していくおそれがありますので、有効期限(2020年1月)を守ってください。

標準塗装仕様

●住宅用化粧スレート(新屋根材)、セメント瓦、スレート瓦など

【ユメロックス仕上げ】

工程	塗料名	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	ゴミ、汚れ、こけ、かびなどをワイヤーブラシなどで完全に除去し高圧水洗浄で清浄な面にする。旧塗膜の浮き、はがれなども完全に除去し、水洗い後は下地を十分に乾燥させる。				
下塗り	[2液] 033ライン ユメロックスシーラー	塗料用シンナー ハケ、ローラー、エアレス 0 (通常不要)	1	0.08~0.13	4時間以上 7日以内
上塗り	[2液] 114-1000番級 ユメロックス 各色	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上
緑切り	水切り部で瓦が重なり合った部分は、皮スキなどで塗料の除去、緑切りを行う。				

【1液ユメロックス仕上げ】

工程	塗料名	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	ゴミ、汚れ、こけ、かびなどをワイヤーブラシなどで完全に除去し高圧水洗浄で清浄な面にする。旧塗膜の浮き、はがれなども完全に除去し、水洗い後は下地を十分に乾燥させる。				
下塗り	033ライン エポシーラーマルチ	塗料用シンナー ハケ、ローラー、エアレス 0 (通常不要)	1	0.08~0.10	3時間以上
上塗り	024-1000番級 1液ユメロックス 各色	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上
緑切り	水切り部で瓦が重なり合った部分は、皮スキなどで塗料の除去、緑切りを行う。				

(注) 下塗りは他に下塗り塗料の種類と適正の表をご参照ください。

(注) 屋根材に軽度の不陸がある場合は下塗りの前にロック屋根・瓦用サーフェーサーを使用してください。

(注) 下塗りに溶剤型を使用する場合、旧塗膜の種類、付着状態によりリフティングを生じるおそれがありますので、あらかじめ試し塗りを行ってください。

施工上の注意事項

- 塗料は全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 気温が低いときや、湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上の塗装は避けてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される時は外部の塗装は避けてください。
- 素地が直射日光などによって極端に熱くなっているときは、塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、サビ、砂、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- エアレス塗装の場合は、塗装ミストによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- 乾燥過程で霧、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による膨らみ現象がおこる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- トタン板などでは亜鉛メッキの目分量が多い場合には、下塗り塗料との密着が悪くなる場合があります。新しいトタン板に塗装する場合は、3~4ヶ月屋外放置後表面の光沢がなくなってから塗装してください。
- トタンの折れ曲がり部分、継ぎ目部分などは、膜厚が十分得られない場合がありますので、先に拾い塗りすることをお奨めします。
- 塗装時は、高いところから降り口を確保しながら塗装してください。塗りたての面は滑りやすいので、絶対に車などに乗らないでください。塗り残しがあった場合は乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 2液型サビカット及びユメロックスシーラー硬化剤は、アミンフリー性の少ない主剤との相溶性にすぐれたアクリルタイプですが、施工時および硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる所での使用はできません。
- 希釈には必ず塗料用シンナーを使用してください。他種のシンナーを使用すると、塗料中の樹脂が破壊されて使用できなくなります。また、必要以上に希釈すると色分けの原因になります。
- ユメロックスの硬化剤はイソシアネート系化合物を含んでいるため、吸い取りと鼻、喉、気管支などに障害を起こすおそれがあります。特に換気に注意し適切なマスクを着用して作業を行ってください。過去にアレルギー一症状を経験している人は取扱わないでください。
- 2液型塗料を使用する場合、主剤と硬化剤の配合比は必ず守り、可使時間内(ユメロックス、ハイパーシーラーエポ、23℃で約8時間、2液型サビカット、ユメロックスシーラー、23℃で約5時間)に使い切ってください。また高温時は可使時間が短くなるため注意してください。
- 夏場(高温)では硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず実施してください。塗り重ね時間が過ぎると、層間で密着性が低下します。塗装間隔があく場合は再び下塗りを塗装するか、ペーパーがけを実施してください。
- 114ライン ユメロックスの低温時(10℃以下)塗装では、硬化剤との反応が遅くなるため、硬化前の降雨、結露などにより塗膜不良を生じる場合があります。
- ユメロックスを低温時に塗装する際は、ハイロックス 反応促進剤を1~2%添加してください。
- 塗装作業中および塗膜を乾燥させる際には、十分に換気を行ってください。
- 標準塗付量はハケ、ローラーの場合の値で、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。塗装方法、被塗物の形状、環境などによって増減する場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社指定以外の材料を使用した場合は、十分な性能が得られないことがあります。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- 溶接接合部や下塗りにキズがある場合は、その部分が塗膜不良となりがちです。素地調整後下塗り塗料(サビ止め塗料)で補修塗装を行ってから下塗り塗装してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間を守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- 新屋根材などで素地に軽度の不陸がある場合は、下地調整材として「ロック屋根・瓦用サーフェーサー」を使用してください。
- 新屋根材などで塗装後水切り部で瓦が重なり合った部分に塗料が付着していると漏れの原因となりますので、必ず皮スキなどを用いて塗料の除去と緑切りを行ってください。
- 陶器瓦、洋風コンクリート瓦(モリエル瓦、スカンジナビア瓦など)、アスファルトシングル材には適していません。
- 露出している瓦の素地が脆弱な場合は、剥離の原因となりますので塗装しないでください。(瓦の張り替えをお勧めします。)
- 低汚染性については被塗物の種類や形状、また施工後特に塗膜が十分に乾燥する前、もしくは乾燥初期の段階で天候不良となった場合、その効果が十分に発揮されない場合があります。
- 塗り替えた塗膜は以前の塗膜と比較して、光沢、平滑性が向上し一般的に滑りやすい傾向にあります。塗装後の屋根上での作業には十分注意してください。
- 冬期においては、屋根上の雪が溜りやすくなることと想定されます。安全確認を行い、屋根に滑り止めなどの付帯設備を設けるなど対策を取ることをお勧めします。
- 1液ユメロックス、ロックタンペイント、サビカットプラス及びサビカットIIはスプレーダストや製品に付いた紙、布、ローラーなどが積み重なると自然発火するおそれがありますので、廃棄するまで水に浸してください。
- 見本帳に記載していない素地や塗装方法、工程で施工する場合、塗膜不良を起こすことがありますので、使用する前に最新の営業所にお問い合わせください。
- 下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 引火性の危険物および健康に有害な有機溶剤などを含有していますので、製品容器の注意事項および安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

標準塗装仕様

●金属製屋根、トタン屋根

【ユメロックス仕上げ】

工程	塗料名	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、フケ、さび発生部分などは電動工具を主体に皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。乾コーキングした所、ゴミ、汚れなどはサンドペーパーなどで除去した後、高圧洗浄を行い、乾燥させて清浄な面とする。				
下塗り	[2液] 061-7500番級 2液型サビカット	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 0~5 エアレス : 5~10	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内
上塗り	[2液] 114-1000番級 ユメロックス 各色	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上

【1液ユメロックス又はロックタンペイント仕上げ】

工程	塗料名	希釈剤 塗装方法と希釈割合(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り重ね可能 時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、フケ、さび発生部分などは電動工具を主体に皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具で完全に除去する。乾コーキングした所、ゴミ、汚れなどはサンドペーパーなどで除去した後、高圧洗浄を行い、乾燥させて清浄な面とする。				
下塗り	061ライン サビカットII 又は サビカットプラス	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 0~10 エアレス : 10~20 (サビカットプラス : 10~15) の場合	1	0.12~0.14	4時間以上 7日以内
上塗り 又は	024-1000番級 1液ユメロックス ルーフ 各色	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~15 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	2時間以上
	069-1000番級 ロックタンペイント 各色	塗料用シンナー ハケ、ローラー : 5~10 エアレス : 10~20	2	0.11~0.13	20時間以上

(注) 下塗りは他に下塗り塗料の種類と適正の表をご参照ください。

(注) 下塗りは061-7500級 2液型サビカットも塗装できますが、トタン屋根に塗装する場合、被塗物温度が高くなりやすく、特に夏場は上塗りとの層間剥離を起こしやすいため、細心の注意が必要です。

(注) 下塗りおよび上塗りには、それぞれ同一種、同一ロットの塗料で塗装してください。

(注) 1液ユメロックスとロックタンペイントは、互いに混ぜて使用することはできません。また、桐シヤブ、ボイル油などを混ぜて使用しないでください。

安全衛生上及び取扱上の注意

- (製品の危険・有害性)
 - 引火性の液体である。
 - 溶剤蒸気を吸入すると有機溶剤中毒になる恐れがある。
 - 目、皮膚、粘膜などに対し刺激性がある。
 - 汚れたウエスなどをためて置いたり、スプレーダストなどがたまってくと発熱し、自然発火のおそれがある。(1液弱溶剤型塗料)
- (救急処置)
 - 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
 - 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所まで安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
 - 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- (取扱注意事項)
 - 注意喚起事項のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服の着用や取扱は避けてください。
 - 作業所内には、局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分換気を行ってください。
 - 溶剤蒸気やスプレーダストを吸い取り、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
 - できるだけ皮膚に接触しないようし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋(耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
 - 取扱後は手洗いおよびうがいを行い、作業前に付着した汚れをよく落とすしてください。
 - 使用済ウエス、塗料が、スプレーダストなどは、発熱し自然発火のおそれがあるため、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
 - よくふたをして直射日光を避け、40℃以下の安全でかつ子どもの手が届かない一定の場所に保管してください。
 - 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
 - 指定された以外の製品と混合しないでください。
 - 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
 - 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用してください。
 - 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。
- (施工上の安全性についての注意)
 - 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引き直しの際は、施工主に対して安全性に十分に注意を払うよう指導してください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ベンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。



ロックペイント株式会社

東京営業所 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000
 大阪営業所 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区旭島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1055 FAX(06)6473-1000
 札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX(011)812-9304
 仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市城野区宮千代丁10番11号正広ビル ☎(022)349-8677 FAX(022)283-3255
 西岡東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX(042)700-3112
 名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市千川区福川1丁目1番3地 ☎(052)351-6200 FAX(052)361-7439
 岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番3号 ☎(086)294-1201 FAX(086)294-6966
 福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町峰3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX(092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：
 2017.1.20000N (069-M05)